

機関研究プロジェクト「ケアと育みの人類学」
公開シンポジウム

ケアと育みの人類学の射程

日時：平成24年1月28日(土)13:00～18:00

場所：国立民族学博物館 2階 第4セミナー室

言語：日本語

定員：70名 参加費：無料

参加方法：メールで事前申し込みをしてください。

事前申し込み・お問い合わせ(E-mail)：life@idc.minpaku.ac.jp

主催：国立民族学博物館

ケアと育みの人類学の射程

★プログラム

- 13:00~13:05 開会の辞 鈴木七美 (国立民族学博物館)
- 13:05~13:10 館長挨拶 須藤健一 (国立民族学博物館)
- 13:10~13:40 趣旨説明 鈴木七美「養生から共生へ」
- 13:40~14:30 基調講演 渡部昭男 (神戸大学大学院)
「地域が学校を取り戻す」
コメント：谷口陽子 (専修大学) / 洪賢秀 (東京大学)
- 14:30~14:40 休憩
- 14:40~15:30 特別講演 山田千香子 (長崎県立大学)
「流通と往来の島に吹く風—島人が育んだ自然と文化と人の力」
コメント：金本伊津子 (桃山学院大学)
河西瑛里子 (国立民族学博物館)
- 15:30~16:20 特別講演 白水浩信 (神戸大学大学院)
「教育・福祉・統治性—能力言説を越えて」
コメント：助川晃洋 (宮崎大学) / 藤原久仁子 (大阪大学大学院)
- 16:20~16:30 休憩
- 16:30~18:00 全体討論
コメント：石田慎一郎 (首都大学東京) / 丹羽典生 (国立民族学博物館)

プロジェクト「ケアと育みの人類学」は、異なる文化的背景をもつ人々が、信念やアイデンティティにこだわり独自の視点を伝え合うことで、生活の場を共有してゆく方途を探求しています。このシンポジウムでは、過疎地の「学びの場」を拠点として、「養生」としての「教育」のありかたを問い直す若者たちの軌跡を辿ります。

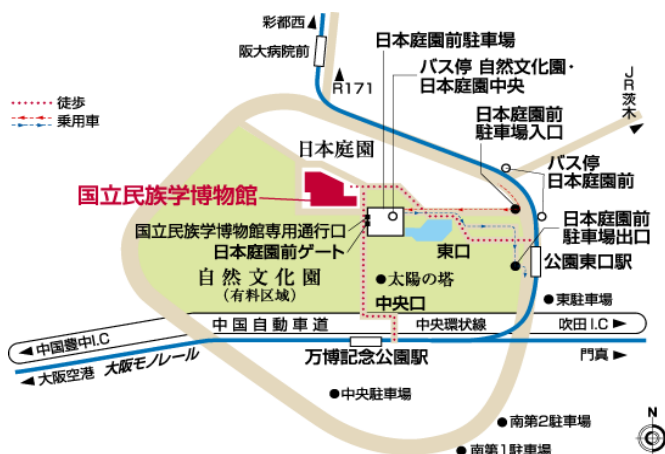
場所：国立民族学博物館 2階 第4セミナー室

言語：日本語

定員：70名 参加費：無料

お問い合わせ (E-mail)：life@idc.minpaku.ac.jp

主催：国立民族学博物館



交通のご案内

- *国立民族学博物館(みんぱく)は大阪・千里の万博記念公園内にあります。「みんぱく」とは大学共同利用機関法人 人間文化研究機構国立民族学博物館の愛称です。
- 大阪モノレール
「万博記念公園駅」下車徒歩約15分
(展示をご覧になれる方は、みんぱくの観覧券をゲートにてお買い求めになれば無料で通行できます。)
「公園東口駅」下車徒歩約15分
(「公園東口駅」からは自然文化園(有料区域)を通行せずに来館できます。)
- バス
[近鉄バス] (阪大本部前行き) 阪急茨木市駅から約20分
JR茨木駅から約10分「日本庭園前」下車、徒歩約15分
[万博バス] (万博記念公園駅経由千里中央行き)
阪急茨木市駅から約20分、JR茨木駅から約10分
「自然文化園・日本庭園中央」下車、徒歩約5分
- タクシー
万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れることができます。
下車、徒歩約5分
- 自家用車
駐車施設が無い「みんぱく」への車の乗り入れはできません。
万博記念公園の駐車場(有料)をご利用願います。最寄り「日本庭園前駐車場」から徒歩約5分
*「日本庭園前駐車場」をご利用の方は、「日本庭園前ゲート」横にある国立民族学博物館専用通行口をお通りください。